

過年度のE B P M対象事業の効果検証について（1 / 2）

資料5

保険局「医療保険制度における後発医薬品の使用促進策」

1 事業概要

後発(ジェネリック)医薬品の使用を促進するために、以下のアクティビティを実施

- 国民健康保険制度における保険者努力支援制度
- 後期高齢者医療制度における保険者インセンティブ
- 保険者が実施する後発医薬品利用差額通知の送付
- 後発医薬品希望シール・カードの作成及び配付、後発医薬品の普及・啓発に係るリーフレット等の作成
- 各都道府県における保険者協議会と後発医薬品協議会の連携（各都道府県宛ての通知を発出）等

2 取得可能なデータ

サンプル	保険者(1,400件程度)
期間	2019～21年
アウトカム	後発医薬品使用割合(数量シェア)
その他変数	アクティビティ(差額通知等)の実施有無、被保険者数、被扶養者数、前期高齢者数、等

3 分析方針

- 各種アクティビティの実施により、後発医薬品使用割合の伸び具合を確認する
- アクティビティの実施状況に応じて、以下2パターンの分析方法を検討中

パターン1：重回帰分析(OLS)

適用条件	特になし
分析概要	単年又は時系列データを用いて、各種アクティビティの実施有無（0/1のダミー変数）及び各保険者の属性を説明変数、後発医薬品使用割合を被説明変数にとって、OLSで分析

パターン2：差の差分析(DID)

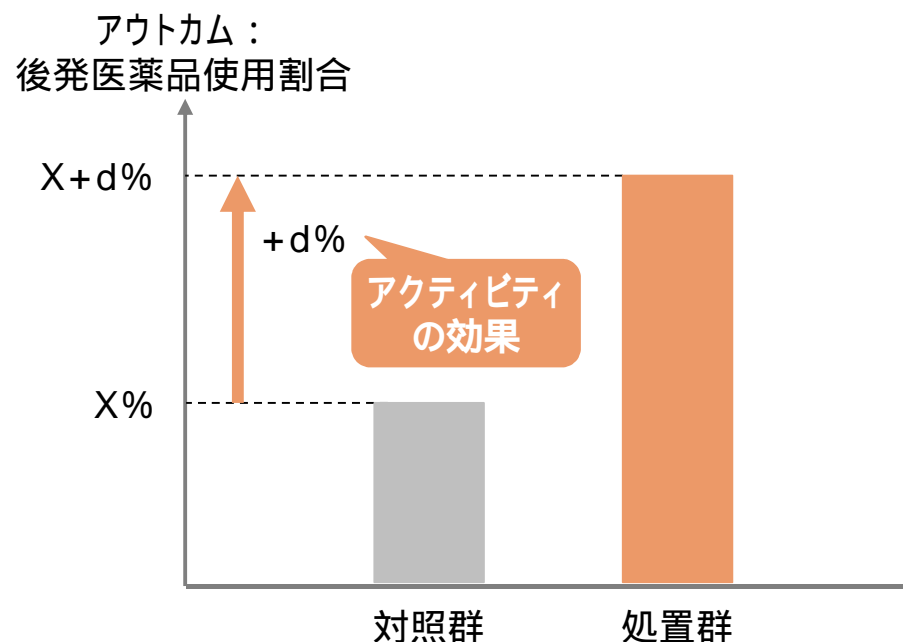
適用条件	各種アクティビティについて、当初は実施していなかったがデータ取得期間中に実施するようになった保険者の数（＝処置群）及び期間中全く実施しなかった保険者の数（＝対照群）が十分存在する場合
分析概要	パネルデータの最初の年を事前、最後の年を事後データとし、処置群と対照群をサンプルにとってDIDで分析。保険者別の効果の異質性についても分析

過年度のE B P M対象事業の効果検証について (2 / 2)

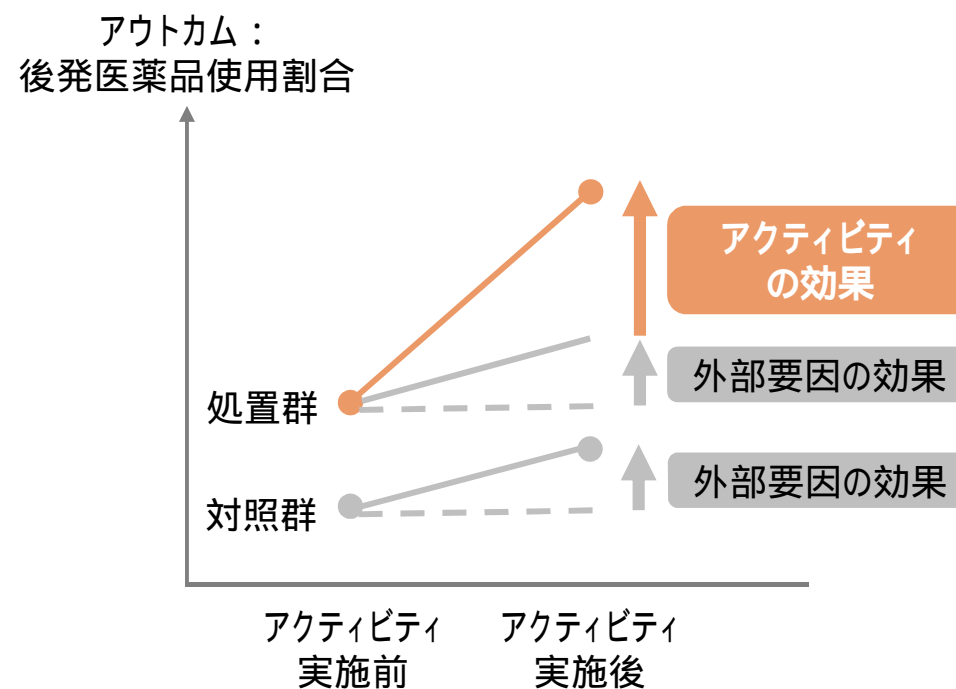
保険局「医療保険制度における後発医薬品の使用促進策」

4 分析イメージ

パターン1：重回帰分析(OLS)



パターン2：差の差分析(DID)



分析対象とするアクティビティ

後発医薬品差額通知の送付
後発医薬品希望シール・カードの作成及び配付

機関誌やサイトでの告知
後発医薬品の普及・啓発に係るリーフレット等の作成